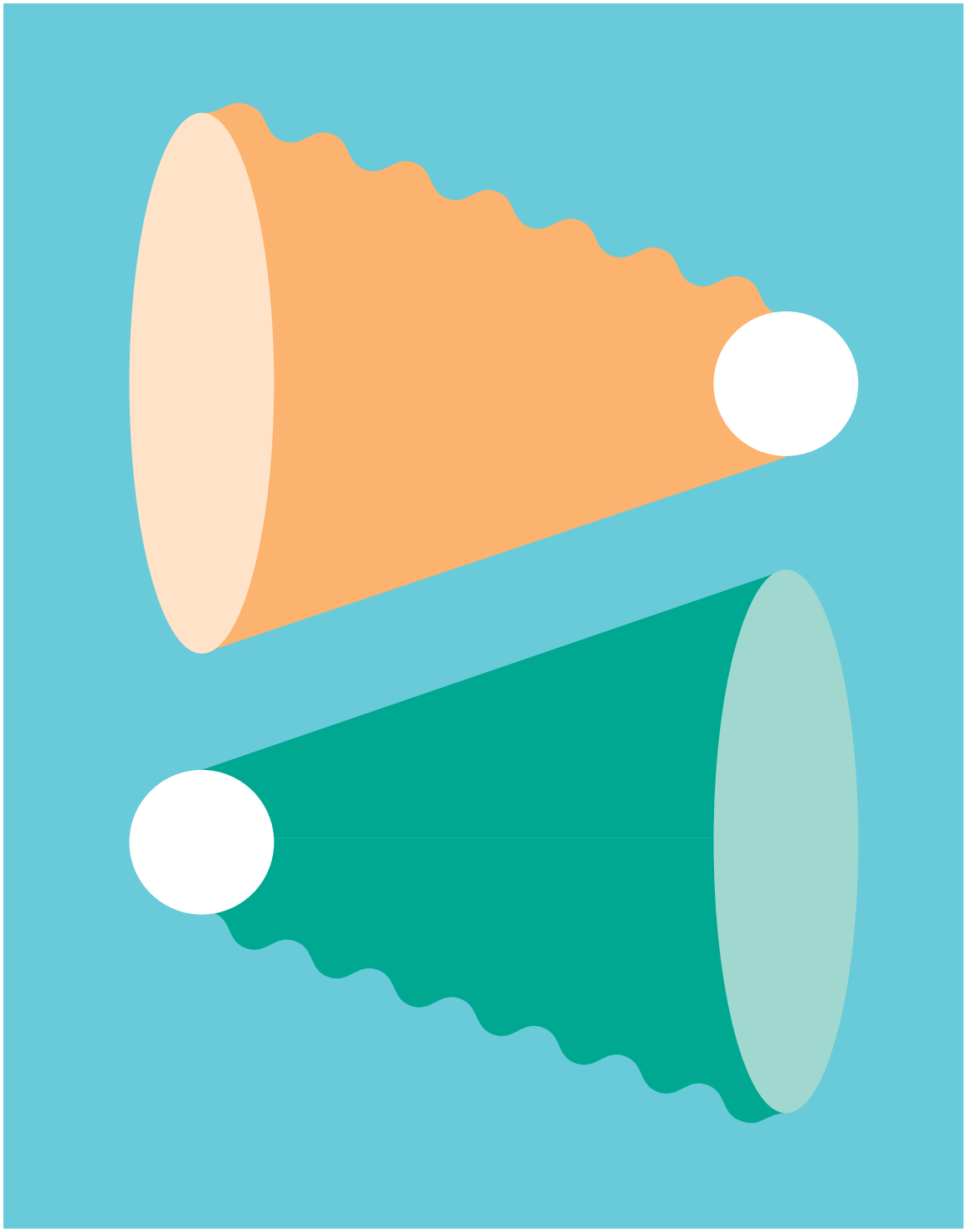
755

2022
4.22

日精看、リスタートします。



NISSEIKAN NEWS　日精看ニュース

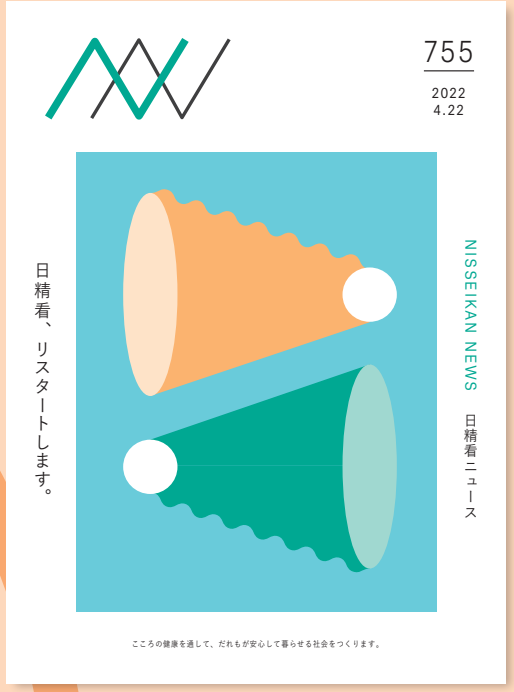
こころの健康を通して、だれもが安心して暮らせる社会をつくります。

FEATURE

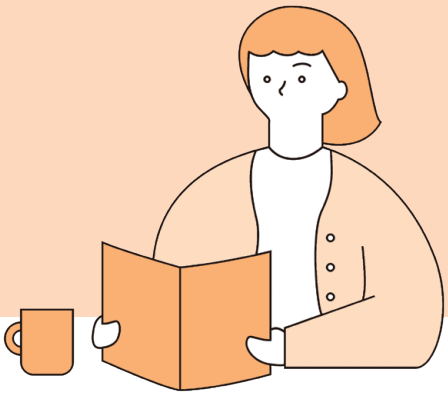
「日精看メディア」強化中！

日精看ニュース MAGAZINE

『ナーシング・スター』を『日精看ニュース』として刷新。日精看版ラダー、倫理、診療報酬改定、学術集会、精神科認定看護師制度など、日精看が取り組む重点テーマや、精神科看護職が理解しておくべき重要トピックス、よりよい実践を支える知見を、豊富な連載を中心にお届けします。全国の仲間もたくさん登場します。世代や職位を問わず、だれでも読みやすいフルカラーの情報誌です。毎月22日は『日精看ニュース』の日。職場や自宅やカフェでゆっくりご覧ください。

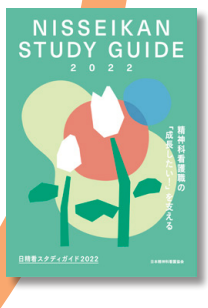


コーヒーでひと息つきながら



思いついたらとりあえずメモ

日精看ブックレット BOOKLET



日精看スタディガイド 2022

成長を支える学びの情報を詰め込んだ保存版。日精看版ラダーで自分に合った研修会を選べます。

精神科看護職の倫理綱領とモヤモヤ MEMO

常に携帯できるポケットサイズ。倫理的感受性を高めるための「モヤモヤ MEMO」付いてます。

「ふと気になったら書き留める」「読み直すと新しい発見がある」。1年間ずっと使える冊子です。ふだんから手元に置いて、くり返しご活用ください。掲載の QR コードから『日精看オンライン』にすぐアクセスできます。

「日精看メディア」とは、日精看発行の印刷物やインターネット媒体の総称です。精神科看護の最新情報や全国の仲間の実践にふれ、日々の看護にぜひお役立てください。

窪田 澄夫（くぼた・すみお）
日本精神科看護協会
業務執行理事

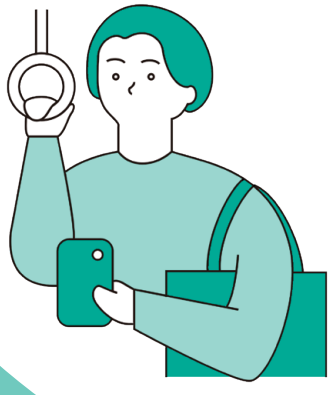
WEBSITE

日精看オンライン

jpna.jp

精神科看護に関するさまざまな情報を、いつでもどこでも手軽に得られる「情報プラットフォーム」をめざして、2022 年 4 月からホームページを『日精看オンライン』としてリニューアル。厚生労働省からの案内や資料、災害・感染対策の情報面でのサポート、看護管理に欠かせない情報、ダウンロードできる様式やツールなど、随時アップしていきます。研修会や学術集会をはじめとした日精看の各事業の詳細もご確認いただけます。スマートフォンでもグッと利用しやすくなりました。

会員専用ページは資料いろいろ



仕事帰りにスマホでチェック

公式 LINE

精神科訪問看護 LINE

公式 Facebook

精神科看護管理ニュース

メールマガジン

YouTube チャンネル

LINE や Facebook、メールマガジンで、最新情報をイチ早くお届けします。『精神科看護管理ニュース』や YouTube の日精看チャンネルもたいへん好評です。すべて『日精看オンライン』でカンタンに登録できます。

SOCIAL ACCOUNT

日精看ソーシャルアカウント

密着！日精看版ラダー導入への道

第8回 ― いままでの道のりを振り返る

石橋病院（北海道）副看護部長の岩代純さんの提案で始まった院内へのラダー導入のプロセスを、いままで7回にわたってお伝えしてきました。その概要を簡単におさらいします。

第1回
日精看版ラダー導入のきっかけ

院内教育や人材育成に課題を感じていた教育担当の岩代さん。「現状の打開にクリニカルラダー（以下、ラダー）が役立つのでは？」と考え、導入を意識しはじめました。

第2回
日精看版ラダーの導入について提案を受けた看護部長の思い

看護部長はラダーの導入について「精神科看護職の成長の道筋が見え、成長してきた過程が実感できる」「成長を支援する方法としても有効」と考えており、ラダーの導入を後押しする姿勢を示してくれました。

第3回
ラダー導入の思いを師長・主任に伝える

ラダー導入の要になる師長・主任と院内教育や人材育成の課題を共有し、ラダーの紹介と学習の機会をもちました。

第4回
師長・主任の思いを知る

ラダーを少しずつ学んでいくと、ラダー導入の魅力だけでなく、不安や疑問が出てきました。これらの思いをみんなで共有すること、また導入するのであればみんなが納得できる導入の目的が必要なことが明らかになってきました。

第5回
石橋病院のクリニカルラダー導入の目的

石橋病院の「クリニカルラダー導入の目的」を明確化しました。「導入の目的」を明文化しておくと、導入の過程や導入後に迷ったり、方向性を見失いそうになったときの拠り所になります。

第6回
クリニカルラダー導入までの計画を立てる

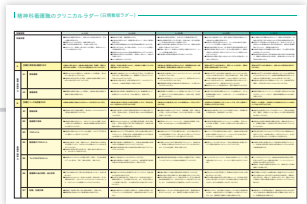
いつから導入するのかを検討し、導入後の運用をイメージしながら準備計画を立てました。運用後をイメージするために、書籍やすでに導入している施設の話を参考にしました。

第7回
ラダー導入に向けたワーキンググループの構成

ワーキンググループを立ち上げ、誰がどのような準備をするのかについて、役割を分担しました。

次回は「ラダーに関するQ＆A」の予定です。ご期待ください！

相原法子（あいはら・のりこ）
日本精神科看護協会
教育企画部長（教育担当）



日精看版ラダーの詳細は、「日精看スタディガイド2022」に掲載しています。

研修会 ピックアップ

☐ 精神科看護職の倫理綱領解説①

【オンデマンド】90分
【配信期間】5/10（火）～2023/3/10（金）
【受講料】会員1,650円（非会員2,475円）

昨年度改正した精神科看護職の倫理綱領の理解が深められる内容です。ここでは倫理指針1～7についての解説と、「精神科看護職の倫理綱領とモヤモヤMEMO」の活用についてお伝えします。

☐ 精神科医療の歴史

【オンデマンド】90分
【配信期間】5/10（火）～2023/3/10（金）
【受講料】会員1,650円（非会員2,475円）

精神科医療の歴史と諸外国の精神医療改革を参考に、現在の精神保健医療福祉に求められていることを考えます。精神科看護の初心者にもベテランにも役立つ内容です。

☐ 精神科看護職の倫理綱領解説②

【オンデマンド】90分
【配信期間】5/10（火）～2023/3/10（金）
【受講料】会員1,650円（非会員2,475円）

昨年度改正した精神科看護職の倫理綱領の理解が深められる内容です。ここでは倫理指針8～12についての解説と、「精神科看護職の倫理綱領とモヤモヤMEMO」の活用についてお伝えします。

☐ 精神保健福祉法の基礎知識

【オンデマンド】90分
【配信期間】5/10（火）～2023/3/10（金）
【受講料】会員1,650円（非会員2,475円）

患者の人権を尊重し、安全で安心できる精神科医療・看護が提供できるように、精神保健福祉法を正しく理解します。精神科看護を始めるにあたって押さえておきたいポイントが学べます。

↓詳細は日精看オンラインで

ETHICS

モヤモヤMEMOで考える倫理指針

2021年9月に会員のみなさんにお届けしたポケットサイズのメモ帳です。

新たな連載を始めます

吉川隆博（きっかわ・たかひろ）
日本精神科看護協会 会長
東海大学医学部看護学科 教授
（神奈川県）

医療機関における倫理的な課題とは、個人の課題ではなくチームや組織全体の課題です。私がそのことを強く実感したのは、精神科病院で働きながら看護師資格を取得した時期でした。当時の看護職の考え方や行動は、精神科病院ならではという、いわゆる「組織風土」の影響が大きかったと思うようになりました。ただし、病棟や病院内で声をあげることは容易ではありませんでした。それでもあきらめず、自分自身が長年かけて取り組むことのテーマとして、「倫理」を位置づけてきました。

私は、倫理的なモヤモヤ（気がかり）は、「自分への問い」だと思っています。日常業務のなかでモヤモヤを意識することが大切で、それが倫理的課題の改善に向けた出発点になります。

ただし、モヤモヤとした自分の感覚も、日常業務をこなすなかで、時間とともに薄れていくことがあります。モヤモヤを書き留めておく習慣こそが、倫理的課題への取り組みにつながります。同じようにモヤモヤを抱いている人が必ずいます。医療安全の課題と同様に、倫理的な課題がまったくない医療機関は存在しないと思います。一人で抱え込まず、みんなで考えることができる環境を一緒につくっていきましょう。来月号からは、毎回「精神科看護職の倫理綱領」の倫理指針をテーマに、「モヤモヤ MEMO」に書かれた出来事やジレンマから考えていきます。

みんなで語りあおう 現場の倫理

1 身体的拘束プレフォーラム開催中

第2回精神科看護 CONGRESS（6/24～25開催）において、身体的拘束について「精神科看護職がめざす方向性」を議論し、社会に公表する予定です。それに向けて、多くの会員のみなさんと身体的拘束について率直に語りあう「プレフォーラム」をオンラインで開催しています。3/4（金）には2回目のプレフォーラムを開催しました。参加した会員からの「身体的拘束をなくすために、看護職の『不安』を解消する必要がある」という思いを共有し、さまざまな施設の看護職と意見交換ができました。

次回は看護者以外の職種に参加していただき、身体的拘束についてどのように考えているのか、他職種からの意見を聞いて一緒に取り組めることを考えたいと思います。

3回目のプレフォーラムは、4/22（金）を予定しています。

2 倫理に関する研修会のお知らせ

今年度は、「精神科看護実践の場に根づく倫理カンファレンスの実践」（No.18）、「倫理研修の組み立て方と実践」（No.20）など、さらに内容の濃い集合研修（東京：4～5日間）も企画しています。「日精看スタディガイド 2022」P.20をご覧のうえ、ふるってご参加ください。

3 精神科看護 CONGRESS にご参加ください！

第47回日本精神科看護学術集会中に開催される第2回精神科看護 CONGRESS（コングレス）では、倫理をテーマにしたプログラムを行います。ぜひご参加ください。

【日 程】6/24（金）〈70分間〉
【テーマ】倫理的な組織文化の醸成
【演 者】中薗明子（日本精神科看護協会 業務執行理事、公益財団法人慈愛会谷山病院）
後藤悌嘉（長崎県精神医療センター、精神科認定看護師）
【座 長】東　美奈子（日本精神科看護協会 副会長）

集中解説

2022年度 診療報酬改定を読む

前編

ABOUT 精神医療にかかわる改定の特徴

診療報酬改定で精神医療に係る項目は、主に「地域移行・地域生活支援の充実を含む質の高い精神医療の評価」に示されています。2020年度の診療報酬改定では、「質の高い入院医療」「精神病棟における地域移行の推進」「地域移行・地域定着に資する継続的・包括的な支援」「適切な精神科在宅医療の推進」といった評価が特徴的でした。今回の改定ではそれに加え、救急医療体制整備の充実と、入院治療から外来・在宅療養まで切れ目のない継続した支援に関する項目がより具体的に評価されています。また、精神医療の実情と治療的な課題に照らし合わせて、摂食障害や児童・思春期に関する対象者年齢や治療期間などが見直されていることも、本改定の特徴といえます。

診療報酬改定の目的には、政策誘導的なねらいもありますから、今後も「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築の推進」等に向けたさまざまな改定が検討されることでしょう。診療報酬は看護職にとっても非常に身近な制度です。「国民に身近であって安心・安全な医療の実現のために」「看護の質を継続的に担保するために」「看護職にとって働きやすい環境を整備するために」、日精看はこれからも精神科看護にとって必要かつ適切な診療報酬の確保を国へ提言していきます。

草地仁史（くさち・ひとし）
日本精神科看護協会
業務執行理事（東京都）

CHECK 注目の改定項目

救急医療体制整備を充実するための見直し

精神科救急医療体制の適切な整備を推進する観点から精神科救急入院料が見直され、「精神科救急急性期医療入院料」という名称に変更しました。この改定の特徴は、入院期間に応じた3区分の評価に見直されるとともに、救急医療体制整備を充実させる観点から、新設の「精神科救急医療体制加算」、既設の「精神科急性期医師配置加算」の3層で同時算定できる仕組みになっていることです。

精神科救急医療体制整備は、各地域の実情に応じた体制の整備が求められます。集中的な治療を担う救急・急性期医療の病棟に要件が付け加えられて、さらに適正な救急医療体制が整備されることについては期待したいところではあります。一方で地域によっては、この3層構造を同時算定することが難しいと判断される医療機関があることも予想されます。今回の診療報酬改定が精神科救急医療の充実をめざしたものになっているのかどうか、今後も注視していきたいと思います。

西舘　均（にしだて・ひとし）
日本精神科看護協会 業務執行理事
一般財団法人岩手済生医会三田記念病院
総看護師長（岩手県）

改定項目から見る精神科訪問看護の役割

2020年度の診療報酬改定では、「精神科在宅患者支援管理料」の区分にあった「重症患者等以外」が廃止され、地域の医療にニーズをさらにくみ取ることができると期待していた多くの在宅医療・看護関係者は落胆したことでしょう。特に引きこもりの人たちの状況は重症度だけで測れるものではなく、個別性が高いため、まずは手を伸ばすことが必要だからです。精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築にも逆行しているものだったと感じています。

今回の改定では、在宅において継続的な精神医療の提供が必要な者に対して適切な医療を提供する観点から、あらためて要件の見直しが行われ、引きこもり状態にある患者や精神疾患の未治療者、医療中断者等が対象に加わりました。現制度では地域の実情に応じた活動を展開するだけの仕組みは整っていませんが、訪問看護が担える役割はまだまだあります。次号では精神科在宅患者支援管理料を取り上げて、具体的な活動方法について解説する予定です。

東　美奈子（あずま・みなこ）
日本精神科看護協会 副会長
訪問看護 花の森（山口県）

みんなの学術集会

第47回 日本精神科看護学術集会はハイブリッド開催

新型コロナウイルス感染症の流行により、ここ3回の学術集会はオンラインで行ってきましたが、今回は現地とオンデマンドによるハイブリッドで開催します。現地に来られない方々の研究等の発表は、音声入りのパワーポイントを再生して皆様に見ていただく予定です。現地でも、オンデマンドでも、学びの多い学術集会になるよう準備を進めております。皆様の参加を心よりお待ちしています！

⇒詳細は日精看オンラインで

【会期】 2022/6/24（金）～25（土）
【場所】 沖縄コンベンションセンター（沖縄県宜野湾市真志喜4丁目3-1）
【申込受付期間】
- 事前参加申込：2022/4/1（金）～5/20（金）
- オンデマンドのみの参加申込：2022/4/1（金）～8/21（日）

【参加費】
- 現地参加（オンデマンドの視聴も含む）
  〈事前申込〉会員＝13,200円（税込）／非会員＝24,200円（税込）
  〈当日申込〉会員＝15,400円（税込）／非会員＝26,400円（税込）
- オンデマンド配信のみの参加　※配信期間：2022/7/1（金）～8/31（水）
  会員＝13,200円（税込）／非会員＝24,200円（税込）

一般演題Bの企画が決定しました

＊企画代表者のお名前・所属を掲載

ワークショップ

- ☐ ストレングスモデルを身に着けよう！with 笑抱の会
  藪田　歩／訪問看護ステーションみのり横浜
- ☐ ソクラテス問答法を体験しよう
  伊関　敏男／東京家政大学健康科学部看護学科
- ☐ 精神科病院における「JNAラダー」の導入、活用
  浅川　佳則／医療法人長尾会ねや川サナトリウム
- ☐ リカバリーと病気の自己管理：IMR
  中村　正子／公益財団法人復康会鷹岡病院
- ☐ 見過ごすな、その変化！防げ急変！～いつでもできるINARS
  井口　千春／医療法人社団健仁会船橋北病院
- ☐ 精神に病をもつ人の看取り、「どういきたい」をどう支援するか
  田代　誠／神奈川工科大学

交流セミナー

- ☐ 精神科認定看護師の実践報告から学ぶ沖縄から全国へ繋ぐ看護の力
  花田　政之／医療法人白日会黒川病院
- ☐ 「語ろう！！多様な背景を持つ新人看護師教育について考える」
  高田　康代／公益財団法人積善会曽我病院
- ☐ がんを合併した精神疾患患者の看護を語ろう
  荒井　春生／京都光華女子大学健康科学部看護学科
- ☐ WRAP体験クラス
  小成　祐介／NPO法人レインボーネット

共催セミナー　お菓子や軽食を食べながら学べます！

☐ **【イーエヌ大塚製薬株式会社】**
摂食嚥下障害の評価と訓練の実際
演者：戸原　玄
（東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 医歯学系専攻老化制御学講座、摂食嚥下リハビリテーション学分野 教授）

☐ **【大塚製薬株式会社】**
精神科救急病棟における統合失調症の治療
演者：平安良雄
（医療法人へいあん平安病院 法人統括院長・臨床研修センター長、横浜市立大学 名誉教授）

☐ **【中央法規出版株式会社】**
看護計画からコプロダクション計画へ
～新時代の精神看護を支えるキーコンセプト～
演者：木戸芳史
（浜松医科大学医学部看護学科 教授）

看護研究 ウォーミングアップ

#0 新コラムが始まります

木戸芳史（きど・よしふみ）
浜松医科大学医学部看護学科 教授
（静岡県）日本精神科看護協会 理事

突然ですが、みなさん、研究は好きですか？「大好きです、生きがいです！」って即答できる人よりも、「ああ、ついに研究を担当することになってしまった……」と、消極的な人のほうが多いのではないでしょうか。ましてや、このコロナ禍で「研究どころではない」という人も多いと思います。

でもね、研究って私たちが提供している看護の質を上げるためには必要不可欠なものなんです。「そうはいっても、正直わからないことが多すぎる」、そんな思いを抱いているみなさんが少しでも前向きに研究に取り組めるように、毎月ちょっとずつお話をしていきたいと思います。お楽しみに！

59名の精神科認定看護師が誕生しました！

2022 年 3 月 15 日に精神科認定看護師の合格発表があり、全国の精神科認定看護師は 863 名になりました。
今回の合格者のなかから 6 名の声を紹介します。

患者さんの希望や思いに寄り添い、看護スタッフや他職種とともに成長できる精神科認定看護師をめざします。

佐藤宣子（さとう・のりこ）
岩手県：岩手県立一戸病院

夢や希望を大切に、その人らしい生活が送れるよう、リカバリーを支援していきます。

堺　聖友士（さかい・みゅうじ）
富山県：高岡市民病院

ひとに寄り添い、「好循環」を起こせる精神科認定看護師をめざして、院内を駆けまわります！

寺田鈴子（てらだ・すずこ）
佐賀県：独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター

看護実践をもとにその専門性を発揮し、組織や地域のニーズに対応できる精神科認定看護師をめざします。

前岡真平（まえおか・しんぺい）
大阪府：医療法人好寿会美原病院

誰からも気兼ねなく声をかけていただけるような精神科認定看護師をめざします。

半谷修一郎（はんがい・しゅういちろう）
福島県：公益財団法人星総合病院星ヶ丘病院

生きづらさを抱えた方と共生するために、あらゆる地域資源と協働することをめざします 。

豊本玲子（とよもと・れいこ）
福岡県：訪問看護ステーションあいてらす太宰府

はじめて更新しました！

2021 年度の更新審査に合格した方の中から、2 人の声を紹介します。

利用者さんとご家族の訪問活動からの学びをスタッフに伝達し、寄り添いつづける看護の意味をスタッフとともに考えています。スタッフの思いや視点から学ぶことも多く、基本を大切にしながら、日々、取り組んでいます。

井口菊代（いぐち・きくよ）
東京都：訪問看護ステーション芦花

この 5 年間、「正しい精神疾患の知識の普及」と「精神科看護とは何かを追求する」ことを意識しました。看護師が発する言葉・行動を、看護にできるかどうかは、その看護師次第だと考えます。今後も精神科看護発展の一翼を担うつもりで、尽力していきます。

大谷勇生（おおたに・ゆうき）
京都府：医療法人栄仁会宇治おうばく病院

精神科認定看護師をめざす方のための説明会

精神科認定看護師をめざす方や精神科認定看護師の養成を考えている看護管理者の方を対象に、精神科認定看護師制度に関する説明会を開催します。資格取得に関心のある方はお気軽にご参加ください。詳細は協会ホームページをご覧ください。

【日　　時】7 月 13 日（水）
【開催方法】ライブ配信（Zoom を使用）
【申込方法】協会ホームページの「研修会のご案内」から「精神科認定看護師」と検索して、お申し込みください。
【参 加 費】無料
【主な内容】制度の概要、精神科認定看護師実践報告、精神科認定看護師の活用など

精神科認定看護師等による精神科外来相談が算定可能に！

～療養生活継続支援加算が新設～

2022 年度診療報酬改定において、「療養生活継続支援加算」が新設されました。これは、精神疾患患者の地域定着を推進する観点から、精神科外来への通院及び重点的な支援を要する患者に対して、多職種による包括的支援マネジメントに基づく相談・支援等を実施した場合について、新たに評価を行うものです。

この施設基準に、「精神科等の経験を3年以上有し、精神看護関連領域に係る適切な研修を修了した者であること」と明記されています。通院精神療法を算定している患者に対して、精神科認定看護師が精神科外来で相談・支援等を実施した場合に算定することができます。

そのほか、「精神科リエゾンチーム加算」、「認知症ケア加算」に精神科認定看護師が算定要件に含まれています。こちらにつきましては、協会ホームページの精神科認定看護師のページに詳細を掲載していますので、ぜひご参照ください。

療養生活継続支援加算

基本的な考え方

精神疾患患者の地域定着を推進する観点から、精神科外来への通院及び重点的な支援を要する患者に対して、多職種による包括的支援マネジメントに基づく相談・支援等を実施した場合について、新たな評価を行う。

算定要件

通院精神療法を算定する患者であって、重点的な支援を要するものに対して、精神科を担当する医師の指示の下、看護師又は精神保健福祉士が、当該患者が地域生活を継続するための面接及び関係機関との連絡調整を行った場合に算定。（1 年を限度）

施設基準（一部抜粋）

(1) 専任の看護師又は専任の精神保健福祉士が 1 名以上勤務していること。
(2) 対象患者の数は 1 人につき 80 人以下であること。また、患者の一覧を作成していること。
(3) 当該看護師については、精神科等の経験を 3 年以上有し、精神看護関連領域に係る適切な研修を修了した者であること。

出典：https://www.mhlw.go.jp/content/12404000/000905285.pdf を基に作成

NISSEIKAN INFORMATION

01

精神科認定看護師制度改正のお知らせ

2023 年度の精神科認定看護師制度改正では、特定行為研修の共通科目を取り入れ、自施設で実習を行う方向で検討していました。しかし、会員の皆様から「自施設で実習ができない場合に、他の施設で実習をしたい」というご要望が多く寄せられ、新カリキュラムや実習の方法など見直しを行うことになりました。そのため、2023 年度の制度改正については延期とさせていただきます。制度改正の時期については、あらためて会員の皆様に今年度内にお知らせいたします。

より多くの会員の皆様にご活用いただける認定制度となるよう検討いたしますので、何卒、ご理解くださいますよう、よろしくお願いいたします。

02

2022 年度特定行為研修開講見送りのお知らせ

2022 年度より特定行為研修を開講するため、出願者を募集いたしましたが、当協会として事業を実施するための定員に達しませんでした。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が断続的に続いている現状では、出願者数の確保の見通しが立たないため、2022 年度の特定行為研修の開講は難しいと判断し、開講を見送ることといたしました。

2022 年度の特定行為研修の開講見送りに伴いまして、2023 年度以降の特定行為研修の運営についても、見直すこととなりました。『日精看スタディガイド 2022』でお知らせいたしました特定行為研修制度説明会につきましても、見送りとさせていただきます。

今後の特定行為研修の運営等につきましては、決まり次第、協会ホームページや SNS でお知らせいたします。何卒、ご理解くださいますよう、よろしくお願いいたします。

これが自慢！全国発 日精看支部紹介

今月の支部：栃木県支部

会員数：449 人

お話／
鈴木太支部長
医療法人誠之会氏家病院

支部長の自己紹介＆支部長としての心がけは？

栃木県さくら市の氏家病院に看護補助者として就職し、看護師資格を取って40年になります。支部長歴は10年を超えました。

趣味は音楽（ドラムと音響技師）で、宇都宮市内のバーやイベントで活動していましたが、現在はコロナの影響で活動できていません。また、コーヒー好きが高じて自分で豆を焙煎しており、院内イベントで患者様に振る舞ったりしています。

日々の仕事で心がけていることは「親しみやすさ」。卓越した知識や技術を備えて颯爽とした看護師は実に魅力的で素晴らしいですが、私が好きでめざしたいのは「患者様が声をかけやすい、明るい笑顔の看護師」です。これは声を大にして言いたいです。

栃木県支部が大切にしているポリシーや強みは？

私が支部長として大切にしているのは「会員同士の横のつながり」です。協会活動で顔を合わせて情報交換し、看護師同士がウィンウィンの関係になれるような関係性づくりをめざしています。

モットーは、「職員が楽しくなければ、患者さんも楽しくない」です。何においても明るく楽しく、患者さんを先導できる心のゆとりをもつことで、信頼関係を構築し、安心した療養生活を提供できるはずです。

そのためには知識と経験が不可欠ですし、相談相手が必要だと思います。先輩後輩の垣根なく相談しあえる関係性を育める場として、協会活動が一助になると信じています。

栃木県支部主催の研修会、イベントなど

毎年7月に開催する「こころの日」のイベントでは、宇都宮市保健所と協賛でショッピングモールの一角で音楽あり、作業療法体験や心の相談コーナーありの楽しい1日を企画しています（2022年度は開催未定）。5月28日(土)に開催予定の精神保健福祉研修（看護補助者研修）では、私が講師を務めます。他県からの参加も大歓迎ですので、楽しみながら精神科の基礎を学びましょう。

また、県内限定になりますが、秋には「CVPPPトレーナー養成講座」や、宝塚市立病院、武藤先生を講師に迎え、「メンタル・ステータス・イグザミネーション研修」も予定しています。他科に誇れる精神科看護の技術を学ぶ機会を積極的に提供していきたいと思います。

栃木県おすすめ情報

なんと言っても生産量日本一のイチゴが自慢です。「スカイベリー」は大粒でジューシー！「とちあいか」は酸味のバランスよく切り口がハート形になります。定番の「とちおとめは加工から生食までオールマイティ。お菓子やカレーなど、イチゴを材料とした様々な加工品もおすすめです。

東洋羽毛は看護職に寄り添います

vol.1

新連載が始まります！
～日精看と東洋羽毛の物語～

日精看会員の皆さま、こんにちは。東洋羽毛工業株式会社営業部の土屋智由と申します。当社は来年で 70 周年を迎える羽毛ふとんの専門メーカーです。創業当初より看護職の皆さまとのご縁をいただき、「眠り」を通じてお力になれるようにとさまざまな取り組みを重ねてまいりました。このコーナーでは、創業から受け継がれる私どもの思いや歴史、貴協会とのつながりについてご紹介していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

お問い合わせ先／お客様相談室（フリーコール）0120-410840

千葉、東京での営業担当、横浜営業所長などを経て、2021 年より本社営業部副部長に就任。日精看の研修会場で就労支援としてコーヒーサービスの立ち上げにも携わった。

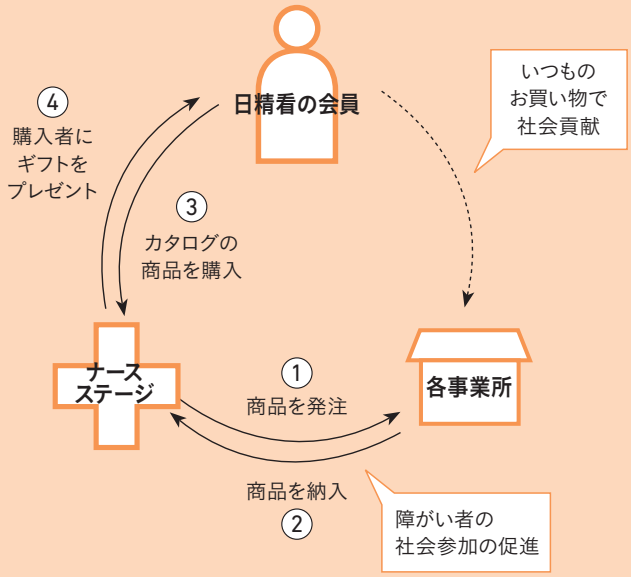
日精看 しごとをつくろうプロジェクト

いつものお買い物で地域ではたらく精神障がい者を応援
「日精看しごとをつくろうプロジェクト」をご活用ください

「日精看 しごとをつくろうプロジェクト（しごつく）」は、2013 年 11 月に発足した精神科の当事者の皆さんの就労支援を目的とした取り組みです。このカタログで買い物をするだけで、精神障がい者の支援になります。カタログが届くタイミングに合わせて買い物の計画をしたり、同僚に薦めたり。フル活用するためのポイントを紹介します。

日精看 しごとをつくろうプロジェクトにご参加ください！

「日精看 しごとをつくろうプロジェクト」は、精神障がい者の自立支援を目的として、通信販売でおなじみの株式会社ナースステージの協力のもと、2013 年 11 月に始まりました。地域の事業所で働く当事者の方々が手がけた商品をナースステージが一括購入し、「しごつくカタログ」でお買い物をした購入者に特典として届ける仕組みです。普段のショッピングを通じて、自立をめざす精神障がい者を応援できる社会貢献の取り組みとして好評をいただいています。



しごつく版「アンファミエ」最新カタログでお買い物をするだけ！

カタログは『日精看ニュース』と一緒に各施設にお届けしています。カタログの追加をご希望の場合は、送付先、氏名、希望冊数をご記入のうえ、件名を「カタログ希望」として、nursingstar@m-s-com.com までメールをお送りください。数に限りがありますので、先着順とさせていただきます。

しごつく活用のコツ

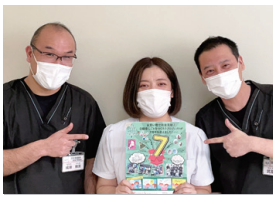
01 ナースシューズや雑貨のお買い物はカタログ発行月にまとめて計画を！

しごつくのカタログは季節ごとに発行します。次号は 6 月 22 日発行の『日精看ニュース』と一緒にお届け予定。お買い物のタイミングを合わせていただくことで、効率よく参加できます。

02 職場の同僚やおともだちも誘って「しごつく」の輪を広げよう！

職場でカタログを回覧するときに、「どうせ買うなら、精神障がい者の自立支援につながるカタログから注文しない？」のひと言を。「しごつく」の輪を身近な人から広げていきましょう。

病院ハートランドしぎさん・子どもと大人の発達センターの主任・吉田愛さん（写真後列左から 2 番目）



社会医療法人函館博栄会函館渡辺病院の芥川三月さん（写真中央）。一緒にしごつくを応援している同僚の精神科認定看護師の成田さん（左）、武藤さん（右）と。

03 何が届くかはお楽しみ！注文 1 回につき 1 個もらえる「お楽しみギフト」

全国の事業所で制作されたマグネットやティッシュケースなど、しごつく特典の「お楽しみギフト」は、注文 1 回につき 1 個お届けします。季節ごとにこまめにお買い物をしてコレクションをお楽しみください。

2021年度 第4回理事会議要旨

【開催日時】2022/3/12（土）13:00～17:00

- 2023年度以降の特定行為研修について、運営開始は精神科認定看護師制度の改正後とし、他の指定研修機関と連携して特定行為研修修了者を養成することとなった。
- 精神科認定看護師制度の改正は、延期することとした。
- こころの健康出前講座にかかわる経費の取り扱いについて検討した。
- その他、承認された事項
  - ・役員選挙の理事会推薦3名
  - ・功労者・優良会員の推薦、功労者表彰4名、優良会員表彰12名
  - ・2021年度入会
  - ・規定以上の旅費
  - ・利益相反取引
  - ・支部長の任命

【報告事項】

- 看護政策委員会より、政策調査事業助成金制度の公募延期を報告した。
- 教育認定委員会より、2021年度研修会の実績、2021年度 精神科認定看護師教育課程について報告した。
- 4月1日より開始のホームページリニューアルについて報告した。

議決行使書　ご持参・ご提出のお願い

第47回定時総会を、以下のとおり行います。

【日時】2022/6/17（金）17:30～20:00
【会場】一般社団法人日本精神科看護協会　東京研修会場
（東京都港区港南2-12-33　品川キャナルビル7階）

議決権行使書の発送は、5/14（土）の理事会を経て発送となりますので、5月下旬ごろにお手元に届く予定です。総会を欠席される方は、6/10（金）までに議決権行使書をご記入のうえ、協会事務局にご送付ください。総会への出席は議決権行使書により確定します。出席される方は、議決権行使書に何も記載せずに、会場にご持参ください。

第1回にっせいかんオンライン　看護管理者交流会のご案内

4～5月にかけて、日精看はオンラインで「看護管理者交流会」を開催します。精神科看護のネットワークを広げ、看護組織を強化するために必要な情報が継続的に得られる「セミナー＆交流会」です。全国の看護管理者のみなさん、ぜひご参加ください。

【東日本地区】4/30（土）10：00～12：00【西日本地区】5/7（土）10：00～12：00
【定員】100名【参加費】無料
【対象者】看護管理者（もしくは次期管理者）
【申込方法】日精看オンラインよりお申し込みください。
【プログラム】
〈第1部〉セミナー：
看護部の組織強化、人的資源開発と戦略、倫理意識向上に向けた看護部の取り組み
〈第2部〉交流会（情報交換会）
〈第3部〉職能団体としての支援

看護管理ワンポイント vol.1

組織を安定させる機能

組織心理学とは、組織のトラブルを突き止め、うまくいっている集団に共通する「リーダーシップ」や「人間関係」を明らかにする学問。組織として成果を上げていくときに良好な人間関係の構築が重要なファクターだと言われています（『武器としての組織心理学』山浦一保著、ダイヤモンド社）。この著書の中では、次のことが述べられています。ある会社に2つの工場があり、それぞれ100人ほどが勤務。一つの工場ではメンタル不調者が複数人発生、もう一つの工場は一人もいない。その違いは、工場長が毎朝、社員一人ひとりに声をかけていること。「職場の健康を守る朝の一言の機能（あいさつ）」が、組織を安定させる重要な機能だ――と。私も管理者として肝に銘じています。

中薗明子（なかぞの・めいこ）
公益財団法人慈愛会谷山病院看護部長
兼精神科統括看護部長（鹿児島県）
日本精神科看護協会 業務執行理事

日精看ニュース No.755
2022年（令和4年）4月22日発行

編集　鈴木 庸、宮本恵理子
デザイン　TAKAIYAMA inc.
運営　コッヘル

発行人　吉川隆博
発行者　一般社団法人日本精神科看護協会

日本精神科看護協会 本部事務局
〒108-0075 東京都港区港南2-12-33 品川キャナルビル7F
TEL 03-5796-7033　FAX 03-5796-7034　E-MAIL info@jpna.or.jp

「日精看オンライン」は
パソコンでもスマホでも

jpna.jp

『日精看ニュース』毎月22日発行｜1部200円（購読料は会費に含む）　© 日本精神科看護協会 2022｜本誌記事、写真、イラストの無断転載を禁じます